



# 立て心よ 行け私よ

No. 3

文責:齊藤 正一

## 校長講話「いのちの理由」(令和4年6月1日リモートで実施)



東井 義雄 先生(多くの教師が尊敬し、多くのことを学んでいる兵庫県の教師 平成3年 79歳で亡くなる)の言葉「命は一つよ」「生きているということは、少なくとも、わたしたちが気がついているくらいの、あたりまえのことではないようだ。生きているということのただごとでない底深さ、根深さは、たとえ感傷的にでもいい、知っておく必要がある。」

今日のお話は具体性に欠けます。これからの話がどれだけあなたたちに伝わるか心配ですが、「生きているということのただごとでない底深さ、根深さは、たとえ感傷的にでもいい、知っておく必要がある」という言葉に背中を押されましたので、話したいと思います。私だけが感傷的になっているだけになってしまうかもしれませんが、少しでも私の思いが伝わればと思って話

します。

あなたたちは一人ひとり、一つしかない命を持って生きている。あなたたちは今日も当たり前教室に来て、勉強したり、ふざけたり、笑ったり、怒ったりしているけど、それぞれの一人ひとりが、かけがえのない、奇跡ともいえるような尊い命を持っているのです。その命は、自分が生きているというより、「生かされている命」「願われている命」なのです。「お家の方々を始め、目には見えない大なるものによって生かされ、願われている命」なのです。

例えば、連日のロシアによるウクライナへの侵攻、侵略の映像やニュース。近代国家があのような力づくでウクライナという国の現状を変更しています。100年くらい前に世界で起きていたことが、現実の世界で起こっています。建物が無残にも爆撃で破壊されている映像が映し出されます。しかし、それだけではない、テレビや写真で映すことができない事実があ映像の裏では起きています。つまり一般の人々や子ども達、あなた方と同じ中学生の命がそこにはあります。きっと学校に来たくても来れなかった思いがあります、生きたくても生きられなかった命があります。そうした姿を思うとき、命というものがどれだけ大切であるかということを思わずにはいられません。自分の命、友達の命、絶対に大切にしてください。私と約束してください。

今日は、さらに2編の詩から命について皆で考えたいと思います。一つ目の詩です。相田みつをさんの詩です。読んでみます。昨年度の2月にこの詩の一部を紹介しました。今日は全部です。

相田みつを「自分の番～いのちのバトン～」を示す。

多くの、過去無量の人達の命をつないで、今の自分を、自分の命を、自分の番を生きている。それが今の私たちの命、あなたの命です。それは言い換えれば、多くの人達に支えられている命であり、支えられて生きている自分、必要とされている自分と言うことでもあります。つまり、あなたの命は、自分一人のものではない、自分一人の命ではないということです。そうしたことを少しでも心で感じてくれれば嬉しいです。

もう一つ、「いのちの理由」という詩です。今度は一緒に心を合わせて読んでみましょう。

さだまさし「いのちの理由」の歌詞を示す。

私たちの人生とは、今もそうかもしれないけど、誰かに傷つけられたり、逆に傷つけてしまったり、時には誰かに助けってもらったり、逆に誰かを助けたりしていますね。

そうした、日々の生活の中で、傷ついたり、傷ついたり、苦しめたり、苦しんだり、助け合ったり、喜び合ったりしているのが、私たちの人生であり、「生きる」ということです。

「生きる」って、楽しかったり、嬉しかったりするけど、苦しかったり、悲しかったりすることもたくさんありますね。ですが、「生きること」にひるんだり、あきらめたり、すてたりしては絶対にいけないんだと思います。生きるということは、自分に許されたその道の突き当たりまで歩くことなのです。それは、一つ目の詩にあるように、命のボタンをつないで、多くの人の願いに支えられ、必要とされて、今、自分の番を生きていることもその理由の一つですね。そして、この詩が言っているように、たとえ今は苦しくても「幸せになるために 誰もが生きている」からです。

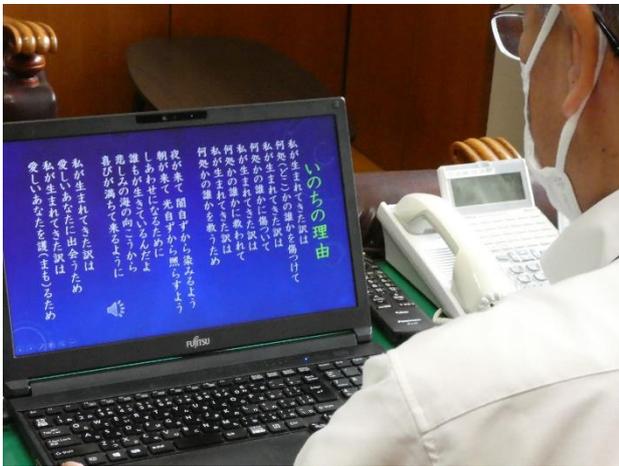


もう一度言います。「人生」とか「生きること」とは、楽しくもあり、苦しくもあり、嬉しくもあり、悲しくもあり、明るくもあり、暗くもあります。しかし、絶対にひるんだり、あきらめたり、すてたりしてはいけません。

この詩の最後に「私が生まれてきたわけは 愛しいあなたをまもるため」という一節があります。

墨坂中学校の先生方全てが、墨坂中学校の生徒全員を、愛しく思っていますし、皆さんを必ず守ります。ですので、何かつらいことや悩みがあったら、一人で悩まずに必ず相談してください。必ず力になります。必ず助けます。

実を言うとこの詩は さだまさし さん という歌手が書いた歌なんです、「いのちの理由」という歌の2番です。最後にこの歌を聴いて、終わりにします。



さだまさし「いのちの理由」(アルバム「美しい朝」収録)を流す。

## 相田みつを美術館からのご寄附

昨年度、須崎市で作品展を開催したご縁から、相田みつを美術館から須坂市内の小学校・中学校・支援学校に美術館グッズをご寄附いただきました。本校では、書籍・日めくりカレンダー・マット付きカード額装を送っていただきました。

早速、図書館に入ってすぐの机の上に、相田みつをコーナーが設けられています。校長講話で紹介された作品が掲載された書籍もあります。その他の作品も、味わい深い言葉、心に迫ってくる言葉がたくさんあります。じっくり読むのに向いている本もありますが、短時間で読める本もあります。ぜひ手に取って読んでみてください。



## 令和4年度 運動部 北信大会等の結果 (一部)

今年度も、観戦者を制限するなどしてはありますが、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらも、中学校体育連盟(中体連)主催の、運動部の大会が開催されています。3年生にとっては、思いをかけてきた中学校の部活動の集大成となる大会です。大会が開催できるように尽力して下さった関係者の皆様、これまで支えて下さった保護者の皆様、そして、何よりも、これまで我慢をしながら、工夫と配慮の中で努力を重ねてきた生徒のみなさんに感謝です。今週末に大会が行われる種目もたくさんあります。来週末は県大会の壮行会、7月中旬には吹奏楽部と合唱部の壮行会が計画されています。墨坂中学校の生徒のみなさんの検討を期待しています。

これまでに行われた大会の結果の一部を紹介します。

大会結果については、HP上では割愛いたします



## 第2回授業参観・情報モラル講演会・共育ちを育む会

6月9日(木)、今年度2回目の授業参観と情報モラル講演会、共育ちを育む会、学年PTAが行われました。

情報モラル講演会では、(株)Goolightの塩谷健太さんから、お話をいただきました。インターネット・SNSは便利なものですが、改めて、安全な使い方をしていきたいと強く思う内容でした。講演の中で、安全に、そして、快適に使うための対策として、ルールをつくることが提案されました。ご家庭のルール作りの参考に、または、ベースにいただければありがたいです。

守るべきルール

- ①コミュニケーションについて  
相手の気持ちを考える。  
勝手に写真を載せない。
- ②利用時間について  
夜は〇〇時まで。
- ③お金について  
勝手に課金しない。
- ④フィルタリングについて。  
フィルタリングは使う。  
必要なものは許可してもらう。



共育ちを育む会は、生徒の健全育成のために、地域と家庭と学校がどう連携していけばよいのか、情報交換をし、共に考える場です。人権擁護委員さん、民生児童委員さん、主任児童委員さん、保護司さん、育成会長さん、育成委員さん、須高少年警察ボランティア協会の方、PTA正副会長さん、各町支部長さん、校外指導部正副部長さんにご参加いただきました。具体的に何をしていこう、ということを決めることも大切ですが、それ以前に、生徒たちの健全育成という同じ願いをもった、様々な立場の関係者が、一堂に会して、対面で語り合うことの大切さを再確認する機会となりました。ご参加いただいた皆様、ご意見をいただいた皆様、ありがとうございました。

## PTA作業 ありがとうございました

6月18日(土)、春のPTA作業が行われました。PTA施設部の皆さんに計画をしていただき、当日は、1学年の保護者の皆様を中心に、校地内の南側、百々川の堤防斜面の草刈りとその片づけを行っていただきました。

草刈り担当の皆さんには、朝7時作業開始で、ビバーで斜面の草をどんどん刈り取っていただきました。草の片づけ担当のみなさんには、8時から作業をしていただきました。だいぶ草も育っていましたが、草捨て場がいっぱいになってしまいましたが、おかげで堤防はずいぶんとすっきりしました。ありがとうございました。



あわせて、校庭北側の斜面の草刈りも行いました。こちら、ずいぶんすっきりしました。ありがとうございました。秋のPTA作業は、9月10日の予定です。